

実り豊かな生活文化都市

中央市 議会だより

Anniversary 20th
Vol. 80
2月
2026



- P 4 12月定例会で決まったこと
- P 8 審議結果
- P 9 市長の行政報告
- P10 一般質問に6議員
- P13 委員会レポート
- P15 ふるさとまつりに出展
- P16 議員合同行政視察研修
- P18 市民の談話室・編集後記



中央市議会副議長
山本 六男

リニア開業により
中央市のさらなる
発展を望む

展



中央市議会議長
金丸 俊明

リニアが走り
中央市も未来へと
走り続ける

走



中央市議会議員
新海 一芳

絆を深め市民と共に
素晴らしい中央市を
創造する

絆



中央市議会議員
志村 勇

20周年を迎え
輝かしい中央市の
幕開けを期待

曙



中央市議会議員
江間 政雄

真心をもって
市の発展に尽くす

真



中央市議会議員
笹本 昇

さらなる
飛躍を目指して

翔



中央市議会議員
小池 章治

山梨の真ん中であり
中心的な位置に
置かれている

央



中央市議会議員
田中 輝美

目指せ！
福祉・子育て・
教育・観光
魅力満載 中央市！！

魅



中央市議会議員
田中 一臣

行財政改革・企業誘致
自主財源の
さらなる確保

開



中央市議会議員
福田 清美

人々が集まる・集える
集客できる
新たな魅力ある
まちづくりを目指す

集

中央市制20周年記念特集 第3弾 中央市議会議員が考える 中央市を表す一文字とは

令和7年11月3日、10回目となる中央市ふるさとまつりに、中央市議会初の試みとして「よってけし！みんなの議会」を出展しました。今年で中央市制20周年の節目を迎えることから、さらに議会に興味をもっていただき、もっと気軽に感じていただきたいからです。

そのなかで、20周年を迎える中央市、各議員“一文字”で表したパネルを展示しました。記念特集の最後として紹介します。

稼

稲穂を家に入れると
書いて「稼」
稼ぐ市政を実現

中央市議会議員
内藤 巧



結

人・地域・文化など
市に関わる
すべての繋がり

中央市議会議員
有泉 誠



笑

子どもの笑顔が多い
住みやすいまちを
目指す

中央市議会議員
中沢 美恵



充

これからも
充実した市政を

中央市議会議員
薬袋 正



光

豊かな自然と
賑わいが融合する
光り輝く未来へ

中央市議会議員
斉藤 雅浩



流

多種多様な
人や物が出入りする市

中央市議会議員
木下 友貴



誠

嘘・偽りのない
真実の心

中央市議会議員
山村 一



創

未来への創造性
独創性が必要な時代

中央市議会議員
井口 貢



9億4,097万円を増額

一般会計

総額 187億4,373万円に

12月定例会が、12月5日から12月19日までの15日間の会期で開催され、市長提案の条例案件10件、補正予算14件、その他の案件4件、また、意見書1件を審議しました。

一般会計補正予算 (第4号、第5号)

一般会計補正予算の主な内容

●総務費	ふるさとづくり応援寄附金事業 (ふるさと納税の返礼品代やポータルサイト手数料等関連経費)	1,537万円
	移住定住推進事業 (新婚世帯の新生活に伴う家賃や引越費用等を一部負担)	1,830万円
●民生費	後期高齢者医療費 (後期高齢者医療の療養給付金の増額等)	1,540万円
	物価高対応子育て応援手当支給事業 (児童手当の対象となる子ども一人あたり4万円を支給する国・県の子育て支援策)	1億9,647万円
●衛生費	からだ未来ポジヘル事業 (山梨大学と連携したデジタル技術を活用してヘルスケア向上を目指す実証事業への費用)	110万円
●農林水産業費	土地改良施設等維持管理事業 (自治会要望等への対応として農閑期に行う水路の修繕等)	250万円
	土地改良施設等基盤整備事業 (宇山平地区経営体育成基盤整備事業負担金)	1,052万円
●商工費	“心”あるまちへ！活性化キャンペーン商品券事業(第7弾) (長引く物価高騰への負担軽減と地域経済活性化に向けた商品券配布事業)	3億4,602万円
●土木費	道路橋梁維持事業 (自治会要望への対応として通学路の安全点検に伴う対策費や修繕料)	200万円
	橋梁長寿命化修繕事業 (田富第二・田富第三統合保育園建設地東の88号橋修繕工事設計費追加)	640万円
●教育費	三村小学校施設整備事業 (屋根及び劣化したコンクリート等補修工事)	1,005万円
	玉穂中学校施設整備事業 (暖房用灯油配管の漏油箇所修繕工事)	437万円

特別会計の補正予算

会 計 名	補 正 額	総 額
国民健康保険特別会計(第2号、第3号)	4,602万円	31億2,455万円
後期高齢者医療特別会計(第2号、第3号)	4,837万円	6億4,073万円
介護保険特別会計(第2号、第3号)	7,770万円	23億6,333万円
地域包括支援センター特別会計(第2号)	89万円	1,841万円
田富よし原処理センター事業特別会計(第1号、第2号)	1,050万円	1億528万円

企業会計の補正予算

会 計 名	収益的収入および支出			資本的収入および支出		
		補正額	総 額		補正額	総 額
公共下水道事業会計(第2号、第3号)	収入	47万円	8億4,513万円	収入	29万円	7億8,387万円
	支出	47万円	8億4,513万円	支出	29万円	9億1,123万円
農業集落排水事業会計(第2号)	収入	68万円	2億6,123万円	収入	—	—
	支出	68万円	2億6,123万円	支出	—	—

主な条例案件

- 犯罪等により被害を受けた被害者やその家族等の状況への理解を深め、寄り添った支援を提供するため、新たな条例が制定されます。

●中央市犯罪被害者等支援条例制定の件（施行日：令和8年4月1日）

【主な内容】 犯罪被害者等の支援のための施策を総合的に推進することにより、犯罪被害者等の権利利益の保護並びに被害の軽減及び回復を図り、もって安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与するため、犯罪被害者等の支援に関する基本的な事項を定めるもの。

- ・ 基本理念を定めるもの。
- ・ 市の責務、市民等の責務、事業者の責務について定めるもの。
- ・ 情報の提供、助言及び相談窓口を設置するもの。
- ・ 犯罪被害者の経済的負担の軽減を図るため、必要な支援を講ずるもの。
- ・ 犯罪被害者等の支援の必要性についての市民及び事業者等の理解の増進を図るもの。

●総合防災公園スポーツ広場のサッカー場使用料が改定されます。

●中央市使用料徴収条例中改正の件（施行日：令和8年4月1日）

【主な内容】 中央市総合防災公園サッカー場の人工芝化に伴い、施設使用料の額を改定するもの。



使用料	昼間1時間（全面）		使用料	夜間1時間（全面）	
	市 内 者	市 外 者		市 内 者	市 外 者
改定前	650円	1,300円	改定前	1,250円	2,500円
改定後	2,000円	5,000円	改定後	3,000円	6,500円

●良質で適切な保育・教育を提供し、すべての子どもたちが健やかに成長できる環境を確保するため、新たな条例が制定されます。

●中央市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件（施行日：令和8年4月1日）

【主な内容】 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）が創設されることに伴う児童福祉法の一部改正により、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準（事業認可基準）について、内閣府令で定める基準に従い定めるもの。

- ・ 一般型乳児等通園支援事業として、保育所、認定こども園等においての設備及び職員の基準、乳児等通園支援の内容等について定めるもの。
- ・ 余裕活用型乳児等通園支援事業（各施設等の利用定員の空き枠を活用）として、保育所、認定こども園等において、設備及び職員の基準等について定めるもの。

●災害その他非常時に、他の市町村において指定されている給排水事業者に対して、中央市の区域内工事を特例的に認め、広域的な連携と迅速な復旧を図ります。

●中央市下水道条例等中改正の件（施行日：公布の日）

【主な内容】 災害その他非常の場合において、迅速に排水設備等及び給水装置の復旧を行うことができるよう、排水設備等及び給水装置の復旧を行うことができる者の特例について定めるため、改正を行うもの。

- ・ 中央市下水道条例の一部改正
- ・ 中央市上水道給水条例の一部改正
- ・ 中央市簡易水道給水条例の一部改正

その他案件

●動産取得の件

対 象 の 施 設：中央市立田富第二・田富第三統合保育園
取得する財産：厨房機器 一式
取得の相手方：住 所 山梨県中央市山之神流通団地北1番地
名 称 株式会社日新厨房企画
代表者 代表取締役 内田 誠一
取 得 金 額：26,378,000円（税込）



●契約締結の件

工 事 名：関原浄水場機電設備工事
工 事 場 所：中央市関原地内
契 約 金 額：1,357,400,000円（税込）
工 事 概 要：機械設備工 一式 電気設備工 一式
契約の相手方：伸電工業・渡辺工業所・松永電工
関原浄水場機電設備工事共同企業体

意見書

●訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書

・提出議員 有泉 誠 ・賛成議員 中沢美恵 江間政雄

報酬引下げにより、小規模事業所の倒産が過去最多となり、在宅介護サービスの基盤が崩壊の危機に瀕しています。また、介護従事者数が減少し、人手不足は深刻化しています。政府の対応策である処遇改善加算金は事業所の経営改善に寄与せず、根本的な解決には至っていません。報酬引下げ撤回と報酬引上げの再改定を求め、要介護者が自宅で安心して暮らせる環境を守るべきです。

以上の趣旨から、以下の項目について求めます。

1. 訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うこと

令和7年12月19日 可決

・提 出 先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣

定例会審議結果

○賛成 ×反対 （金丸俊明 議長を除く）

種別	案 件 名	副議長	フ　ォ　ー　ラ　ム　中　央										至誠会		公明党	日本共産党	無所属	結 果
		山本六男	田中一臣	井口　貢	福田清美	小池章治	斉藤雅浩	笹本　昇	中沢美恵	志村　勇	有泉　誠	内藤　巧	山村　一	江間政雄	新海一芳	田中輝美	木下友貴	
第4回定例会																		
条例 案件	犯罪被害者等支援条例制定の件																	
	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件																	
	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定の件																	
	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例中改正の件																	
	使用料徴収条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等中改正の件																	
	下水道条例等中改正の件																	
	職員給与条例中改正の件																	
	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例中改正の件																	
	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件																	
令和 7 年度 補正 予算	一般会計補正予算（第4号）																	
	一般会計補正予算（第5号）																	
	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）																	
	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）																	
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）																	
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）																	
	介護保険特別会計補正予算（第2号）																	
	介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地域包括支援センター特別会計補正予算（第2号）																	
	田富よし原処理センター事業特別会計補正予算（第1号）																	
	田富よし原処理センター事業特別会計補正予算（第2号）																	
	公共下水道事業会計補正予算（第2号）																	
公共下水道事業会計補正予算（第3号）																		
農業集落排水事業会計補正予算（第2号）																		
その他	動産取得の件																	
	市道路線廃止の件																	
	中巨摩地区広域事務組合理約の変更に関する協議の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	契約締結の件																	
意見書	訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

12月

定例会

市長の 行政報告



田富小学校校舎長寿命化改修 工事の完了

令和6年6月に着工した田富小学校校舎長寿命化改修工事は、10月末日をもって工事が完了し、11月10日に完成式典を執行了いました。本工事では、校舎を今後30年以上安心して使用できるように、建物の構造や機能などの基本的水準を大幅に引き上げ、現代に求められる教育環境への適合を実現し、また、災害時に普通教室棟の2階部分を福祉避難所として開設することを想定し、受電設備や家用発電設備を増築棟の高所に設置し、水害による

停電時においても、地域の重要な防災拠点としての整備も行ってまいります。子どもたちは新年1

月9日の3学期から、この生まれ変わった安全で快適な校舎で、学校生活をスタートさせる予定で、本校がこの地域の教育と地域活動の拠点として、市の将来を担う子どもたちの健やかな成長を促すことを強く期待し、今後とも教育環境の整備・充実を着実に推進してまいります。

中央市子ども第三の居場所の 開所

外国にルーツのある児童・生徒を対象に、学習・生活支援を行うことを目的とした「外国籍児童生徒第三の居場所事業」を主な使用用途とし、公益財団法人B&G財団様の助成を受け、「中央市子ども第三の居場所」がこの度完成し、10月24日、オープニングイベントを開催しました。今後は、多文化共生はもとより、幅広い世代が気軽に訪れ、交流する場となることを期待し、本事

業を推進してまいります。

中央市市制施行20周年 記念事業について

11月3日「第10回中央市ふるさとまつり」は、記念すべき第10回の節目となり、市内外から約4万2千人の皆さまにご来場いただき、「子どもみこし・仮装パレード」をはじめ、ステージ上では、

公園で開催されました。16のフリースでの体験や、県内を拠点に活動するプロ及びアマチュアスポーツチームの選手・スタッフが、スポーツの魅力や可能性についてのトークショーを繰り広げるなど、スポーツへの意識高揚と市民の皆さまの交流を深める秋の一日になったものと感じております。

田富中学校吹奏楽部による演奏、各種団体によるダンスや伝統芸能が披露されました。また、会場内では、中央市商工会、市内企業を中心に、「産業・収穫・食」をテーマに「青春のトマト焼きそば」や市内企業製品、特産品の野菜等の出店など、多くの方で賑わいました。細川たかさんの歌謡ショーで圧巻のステージが繰り広げられたほか、今回は、市制施行20周年を記念し、200

「第17回中央市文化祭」は、中央市文化協会が主催する本市最大の文化の祭典であり、10月25・26日の両日、玉穂総合会館で開催され、文化協会専門部による作品の展示、コーラスや楽器の演奏など芸能発表のほか、ダンスパーティー、ワークショップも開催され、より多くの皆さまに本市の文化をご堪能いただく2日間となったところであります。

発の花火を打ち上げるなど、記念事業にふさわしい充実した内容で実施し、多くの皆さまにご満足いただけたものと思っております。

市制施行20周年記念事業は、さまざまなジャンルから、市民の皆さまが幅広く参加できる事業を念頭に展開しております。

「中央市スポーツフェスティバル」は、10月13日、「スポーツで繋がる」をコンセプトに、中央市総合防災

これらの記念事業を通して、すべての市民の皆さまが生きがいを持って、「社会参加」や「地域づくり」に取り組む「協働」による市政運営をさらに進めてまいります。



Q

75歳以上の人間ドックについて

A

他市町村の状況、集団検診と人間ドックの受診率などの動向や、費用などのデータの収集・検証を行っている

山本 六男 議員

問：75歳以上の人間ドックは。

答：後期高齢者医療制度の被保険者は令和7年4月1日現在で、4,272人であり、その医療費の金額は、令和6年度は36億887万3,000円である。また、同じく後期高齢者の高額医療費の金額は、令和6年度は1億9,675万9,194円である。75歳以上の人間ドックの助成は、他市町村の状況、集団検診と人間ドックの受診率などの動向や、75歳以上の全ての方を対象とした場合にかかる費用などを検証する必要があると考え、現在、それらのデータの収集・検証を行っている。

問：中央市まちづくりアクションプラン策定後の本市のまちづくりの現状と進捗状況は。

内藤 巧 議員

江間政雄 議員

答：現在、リニア中央新幹線の開業時期については、開業の見通しが不透明な状況にあり、リニア駅周辺の具体的な計画も示されていないことから、リニア中央新幹線の開業時期やリニア駅周辺の状況に注視している。このような状況の中、本市では、適切な時機に事業展開ができるよう、県や甲府市と意見交換を行っている。進捗状況は、市長を本部長とする推進本部、関係課長で組織する推進部会において個別具体的に調査検討、また事実処理はPDCAサイクルによる進捗管理を行っている。

【関連質問】

内藤 巧 議員

江間政雄 議員



Q

田富福祉公園の今後は

A

周辺の土地利用の在り方を、適時適切に判断していく

新海 一芳 議員

問：田富福祉公園の今後について。

答：市では、田富福祉公園を含む周辺地域の開発の可能性や必要な条件など、民間企業からのヒアリングや先進地視察を行い、研究を進めている。また、今後のまちづくりでは、国立研究開発法人科学技術振興機構の支援を受け、山梨大学や県、民間企業とともにヘルスケアの先進拠点を目指すプロジェクトに取り組む。来年度から、田富福祉公園コミュニティセンターを会場に事業の基盤となる健康データの収集を行い、今後、研究活動の充実を見込み、このプロジェクトの進捗を見守り、民間企業の投資動向に十分留意し、田富福祉公園コミュニティセンター周辺の土地利用の在り方を、適時適切に判断していく。

問：リバーサイド地区の遊歩道の整備について。

答：整備は、遊歩道の地下に埋設されている既設下水道管から新設管への切り替えの完了が前提となり、現段階では切り替えができない。今後、新設管への切り替え及び既設管の廃止の目途が立ち次第、改めて地元自治会の皆さまと協議を重ね、安全で快適な住環境が構築できるよう、整備方針の検討を進めていく。なお、当面、損傷部分の補修を随時実施し、利用者の安全確保に努め、桜の木は舗装に悪影響を及ぼす木を中心に伐採を進め、本数の適正化を図り、残す木は適宜剪定を施し、遊歩道の健全性を確保していく。

【関連質問】

有泉 誠 議員



Q

自治会集会施設の耐震と空調設備は

A

各自治会に対し、現行の補助制度の活用を積極的に促していく

中沢 美恵 議員

問：自治会集会施設の耐震と空調設備について。

答：自治会が管理する公民館等の建築年数や耐震状況は、自治会集会施設台帳で管理し、施設の建築年月日により、耐震基準（旧耐震基準、新耐震基準、2000年基準）で把握している。耐震診断や改修に対する補助は、対象となる集会施設の自治会に対して補助金を交付し、支援している。公民館等における空調設備の設置は、各自治会の状況を調査し、全体の状況を把握していく。また、自治会集会施設は、平時は地域交流の場であり、大規模災害時には一時避難所等となり得るため、安全性の確保から耐震化や空調設備の環境整備は大変重要なことと考える。耐震診断や耐震補強工事は、自治

会集会施設建設等事業費補助金

制度の活用、また、空調設備等

の設置は、一般財団法人自治総

合センターによる一般コミュニ

ティ助成事業制度を活用できる

ので、まずは、各自治会に対し、

この2つの現行の補助制度の活

用を積極的に促していく。

問：にじいる教室の今後の改

善・移転などの計画はあるか。

答：利用者からの要望もあり、

施設の老朽化と手狭により新

たな場所への移転を考えてい

るが、現在まで適所の選定には

至っておらず、今後とも同施設

の適所となる場所等の選定を進

めていく。

【関連質問】

有泉 誠 議員

田中輝美 議員



Q

重層的支援体制整備事業の取り組み状況は

A

福祉課内に新たに担当を設置し、重層的支援体制整備事業の中核となる多機関協働事業を進めている

有泉 誠 議員

問：重層的支援体制整備事業の取り組み状況は。

答：本市では、令和5年度から2

年の準備期間を経て、本年4月よ

り事業実施しており、高齢者・障

がい者・子ども・生活困窮など既

存の相談窓口を維持しつつ、福祉

課内に新たに担当を設置し、重層

的支援体制整備事業の中核となる

多機関協働事業を進めている。単

独の部署だけで対応できない複雑

化・複合化したケースに対し、関

連する支援機関と連携し課題解決

に取り組む、既存制度の狭間にあ

り今まで支援対象とならなかった

人へのアウトリーチや、参加支援

にも併せて実施している。これま

で多機関協働事業に相談があった

ケースは12件、うち重層的支援会

議、または支援会議は11回開催し、

支援の方向性を協議している。

問：民生委員・児童委員との連携

について。

答：民生委員・児童委員の地域福

祉に対する知見や住民と密接に関

わる活動は、重層的支援体制整備

事業における基盤であり、今後さ

らなる連携に努めていきたい。

問：民生委員・児童委員の担い手

の確保について。

答：担い手不足は、地域の実情把

握や必要な支援提供が困難になる

という課題に直結し、地域福祉の

維持が困難となる。本市では次期

改選に向けた課題と捉え、国の動

向を注視し、委員の皆さまや、地

区協議会ごとにご意見等を伺い、

現状の把握と課題整理に努めて

いく。



Q こども誰でも通園制度の詳細と市の捉え方は

A こどもたちの健やかな成長と発達を促し、保護者の育児負担軽減につながるなど、一定の効果があると考える

田中 輝美 議員

問：こども誰でも通園制度の詳細と市の捉え方は。

答：この制度は、生後6か月から3歳未満の未就園児を対象に、保護者の就労状況を問わず、時間単位で柔軟に保育施設を利用できる新しい通園制度として創設されたもので、こどもたちの健やかな成長と発達を促し、保護者の育児負担軽減につながると考える。

問：受け皿の確保や制度の周知、課題の有無などについて。

答：現在、円滑な受け入れ体制の整備を進めている。周知は、子育て支援センターの利用者や乳幼児健診の機会等を活用し、効果的に実施していく。事業実施にあたっては、保育士の確保や事務負担の増加などが重要な課題である。

問：誰もが安心して搾乳ができる環境づくりについて。

答：母子の健康維持をはじめ、女性が職場復帰しやすい環境の整備、外出支援など、子育て中の方々に幅広く寄与する重要な取り組みである。本市の公共施設に設置されている授乳室は、授乳だけでなく搾乳を行える余剰スペースがあるので、周囲の視線にためらうことなく安心して搾乳できるように、案内表示の工夫を行っていく。

問：「のるーと中央」実証運行期間中に適宜需要に応じた見直しは。

答：地域公共交通活性化協議会で検討していく。

【関連質問】

中沢美恵 議員

木下友貴 議員



Q 小中学校の給食費無償化継続を

A 来年度も、小学校・中学校においても、学校給食費の無償化を継続していく

木下 友貴 議員

問：小中学校の給食費無償化継続を。

答：本市の「義務教育9年間を通じて切れ目のない支援を行うことが、未来を担うすべての子どもたちの健やかな成長を支える」という教育に対する考えから、来年度も、小学校・中学校においても、学校給食費の無償化を継続していく。

問：修学旅行費への補助は。

答：市教育委員会では、経済的な理由により修学旅行への参加が困難な家庭の児童生徒に対し、教育機会の均等を確保する観点から、修学旅行費支援を継続的に実施している。修学旅行費への補助金支出は、子育て世帯の経済的負担軽減という趣旨は理解できるが、仮に補助対象とす

る場合、どのような基準で、どの程度の補助を行うことが公平かつ実効的な支援となるのか等、様々な検証も必要である。

問：国保財政調整基金からの繰り入れについて。

答：国保財政調整基金からの繰り入れは、医療費が急激に増加した場合には山梨県へ納める事業納付金も増額となり、財政運営を圧迫する可能性がある。加入者の高齢化や医療技術の進歩に伴い、今後も医療費給付の増加が見込まれ、国民健康保険制度の安定的な運営を確保するためには、基金についてもある程度の水準を維持する必要がある。現段階で国保財政調整基金からの繰り入れは行わない方向で進めている。

総務教育常任委員会

審査ポイント

機能別消防団員とは

◎消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例中改正の件

〈総務部 危機管理課〉

問：機能別消防団員は、どのような活動を行うのか。

答：中央市では消防団員を経験した者または消防職員を経験した者を対象とし、活動は火災や災害等に出動していただき、出初式などの定例行事には参加しないとしている。

問：機能別消防団員の報酬額1万2,000円の根拠は何か。

答：県内で機能別消防団員を導入している甲斐市では9,000円としている。特に国の定める基準等がなく、近隣を参考に1万2,000円程度がよいとして決定した。

◎使用料徴収条例中改正の件

〈教育委員会 生涯教育課〉

問：サッカー場の芝生張り替え前の利用状況は。

答：土のグラウンドで、田富のス

ポーツ少年団等が週に2回程度使っていた。また、一般の方々も週に1回程度使っていた。

問：今回の使用料改正はかなりの値上げをする印象を受けるが、この使用料に決めた経緯は。

答：公共施設使用料の適正化に関する基本方針に基づき算出した使用料となる。なお、YSCC・COEシルクパークと同じ使用料となった。

◎一般会計補正予算（第4号）

〈未来戦略部 政策秘書課〉

問：移住定住推進事業に対する補助金の交付要件として、本市への居住期間の扱いはどうなっているか。

答：市の補助金の交付要綱では、原則として申請日より5年以上継続して本市に居住する意思があることとしている。これは任意事項であるが、それ以上の制限はかけない。

厚生常任委員会

審査ポイント

いづれでも通園制度とは

◎乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件

〈こども健康部 子育て支援課〉

問：こども誰でも通園制度は、中央市の保育士には周知や研修会が行われ、理解されているのか。

答：全国で統一的なサービス展開が義務付けられているため、来年4月からの実施に向け、まずは公立園での事業開始を目指す。実施園が決定次第、施設や職員に対して制度に関する具体的な説明や勉強会を開催していく。

◎一般会計補正予算（第4号）

〈福祉部 福祉課〉

問：生活保護を受けられる方が年々増加し高齢化している。生活保護費を受けている方の健康に対する事前の検査は、どのような状況か。

答：生活保護を新規で受給される方は、本当に困窮し病院にも行けない状況が一つある。市で

も一般的な健康診断や特定健診を強く推奨しており、保健師の定期的な健康相談や保健指導を実施している。

〈こども健康部 健康増進課〉

問：からだ未来ポジヘル事業の詳細は。

答：糖尿病予備軍の方を対象にした研究参加募集事業であり、山梨大学と連携したポジティブヘルスという考え方を周知し、健康づくりを行う事業である。

問：糖尿病予備軍の方は何人ぐらいいるか。

答：令和6年度総合健診及び人間ドックを行った方で、中央市では620名程度としている。

問：この事業は委託事業か。

答：委託ではなく、共に研究し協力し合う事業となる。

産業土木常任委員会

審査ポイント

災害時における他市町村の
指定工事店の取り扱い

◎下水道条例等改正の件

〈産業建設部 上下水道課〉

問：市内の上水道及び簡易水道の指定給水装置工事指定事業者、下水道の排水設備指定工事店は何か。

答：上水道が15社、簡易水道が8社、下水道が30社である。

問：災害時、他市町村の指定工事店に対して中央市内の工事を認めることとして、災害の想定範囲はどの程度のことをいうのか。

答：基本的には能登半島地震規模の地震等において、中央市内の業者も被災して給水・排水設備の復旧ができない状態になったときを想定している。

問：他の市町村長が認めている工事店とは確たる会社だと思いが、作業後に中央市の指定工事店としても登録するのか。また、作業後のトラブル等の責任の所在はどうなるのか。

答：他の市町村の許可があるので登録はしないが、トラブル等

の責任は作業を行った業者が負うことになる。

◎公共下水道事業会計補正予算
(第2号)

〈産業建設部 上下水道課〉

問：今回の補正予算における旅費の内容は。

答：マンホールポンプの性能等を検査するためのもので、市に検査を行う施設がないため、職員が県外の製作会社へ行き、マンホールポンプの検査を行う。



行政視察受入れ

埼玉県八潮市議会

11月10日、埼玉県八潮市議会議員4名が、本市で運行しているAIデマンド交通「のーと中央」について、制度の概要や運行状況、導入効果等を学ぶために視察研修に来訪されました。

日頃より本市議会では、他市町村からの視察を受け入れています。こうした受け入れは、本市の取り組みを発信する機会であると同時に、他市町村の先進事例や多様な視点を学ぶ貴重な場となります。

今後も開かれた議会として交流を大切にし、議会活動の充実と市政の発展に生かしていきます。

議会改革推進委員会

議会改革推進委員会では、議会の責任や役割を果たすために必要とする議会改革への取り組みを協議しています。

今回は、市民と議会の対話集会の詳細と、議会事務局体制の強化についてなどを協議しました。

対話集会は、市役所採用5年目未満の職員をグループごとに分け、開催日を令和8年1月16日とし、会場設営や進行内容、役割分担等について確認しました。

また、議会事務局体制の強化については、事務局の限られた職員数や監査委員事務局併任における議会運営への影響等による対応力不足への懸念から、職員増員に関する要望を市長に提出されたことが報告されました。

引き続き、これらの事項についてしっかりと調査・協議を進めていき、結果などの進捗状況を報告していきます。



20周年記念としてふるさとまつりに出展



中央市市制施行20周年記念事業として11月3日に盛大に開催されましたふるさとまつりでは、来場者の皆さまとの交流をきっかけに「これからも議会を知っていただきたい」「もっと議会に興味を持っていただきたい」という思いから、市議会においても20周年を迎える記念行事として、初の市議会でのブースを出展しました。

ブースでは、市制20周年を迎える中央市を議員が一文字で表した展示パネルのほか、議員や議会に関することを楽しく学べるクイズコーナー、缶バッジ製作を通じ、議会を身近に感じてもらえるような交流などを行いました。

当日は、非常に多くの皆さまにお立ち寄りいただき、大盛況となりました。心より感謝を申し上げますとともに、今後の議会活動の参考にしながら、引き続き、より開かれた親しみやすい議会を目指して取り組んでまいります。



表紙の写真で大募集!!

次号からのテーマは

「元気ハツラツ」です。

地域の笑顔、イベントの風景、ボランティア活動等、元気いっぱいの写真で議会だよりの表紙を飾ってみませんか!!

(表紙に採用された方には粗品を贈呈します)



※詳細は

HP(https://www.city.chuo.yamanashi.jp/soshiki/gikai/gikai_info/13325.html)
をご覧ください、事務局(055-274-8516)までお気軽にお問い合わせください。



令和7年11月6日(木)

場 所…岐阜県中津川市

内 容…「リニア中央新幹線と連動したまちづくり」について

合同行政
視察研修
令和7年11月
6日～7日

中津川市では、リニア開業を契機とした新たな都市拠点形成を目指し、「リニアを生かしたまちづくり構想」を策定しています。

土地区画整理事業により、商業・住宅等の複合的なまちづくりを推進するとともに、企業誘致や移住・定住支援、地元産業との連携を地元住民や関係団体と協議のうえ、積極的に意見の反映を行っている、図面や写真を用いながら説明を受けました。



中津川市役所での説明後、実際のリニア中央新幹線停車駅（岐阜県駅（仮称））の工事現場へ移動し、事業の進捗状況や期待される効果などのより詳しい説明を受けました。

議員からは、生活利便性や企業誘致との両立、今後のJR東海との協議への調整・課題等の多くの質問が出ました。



場 所…愛知県岩倉市議会

内 容…(1)「ふれあいトークについて」 (2)「議会サポーター制度について」



(1) ふれあいトークとは、年に数回、議員が市内各地域や団体を訪問し、市政全般にかかるテーマで意見交換を実施しており、情報公開と集約された内容を議会で共有し、施策検討の参考として生かされています。

(2) 議会サポーター制度とは、年代別に無作為または公募による市民を1年間の任期として、議会の傍聴や議会の動画配信を視聴し、「市議会サポーターの声」として議会運営における意見や提言を行う事業とされています。

両事業とも、市民参加型による「協働する議会運営」が具体化されており、市民が「議会の当事者」として、市民と議会との継続的な関係構築に寄与していると説明を受けました。

議員からは、ふれあいトークで実際に意見交換をした団体や上がった市民の声の内容、議会サポーター制度導入のきっかけから現在のサポーター数や参加負担など、幅広く質問が出ました。

令和7年11月7日(金)

場 所…愛知県春日井市

内 容…「多世代交流拠点施設(グループふじとう)」について



「グループふじとう」とは、春日井市が地域交流と子育て支援を目的として、廃校された旧小学校を再整備して開設された新しい施設です。

管内には、児童館や図書館、地域交流スペース、カフェ、子育て支援室などが整備され、子どもから高齢者まで幅広い世代が交流・活動できる拠点として、市民と協働のもとで地域コミュニティの活性化を図っています。

利用者目線に立った空間設計は、利用者の親子と職員との距離を近づけ、相談等がいつでもできる環境が整えられていました。

広報誌やSNS等による情報発信により、多くの方に周知されており、利用者は年間50万人以上。世代を超えて地域の方々とともに、集いにぎわうまちづくりを推進していると説明を受けました。



また、「グループふじとう」は、子どもたちが安全に楽しく遊べる環境のなかでも、災害時の地域防災拠点としての役割も備えており、市民の安全を支える重要な場所でもあります。

中央市においても、学校統廃合やリノベーションといった課題に直面しています。生活利便性の向上や広域連携の強化、新しい世代への居住魅力の提供、そして住民の安らぎを追求する施設運営は、大変注目すべき参考事例となりました。

全体を通して、中央市においても、地域の声にもっと耳を傾けて、自分たちの住む地域にもっと関心を持ってもらい、市民や団体・民間活力の導入を参考にしながら、市民の皆さまとともに広く愛される、にぎわうまちづくりを目指していかなければならないと強く感じ、大いに参考になる研修となりました。

この2日間の研修で、それぞれが得た知見をしっかりと今後の議員活動に生かしていきます。

2026.2月
VOL.80桜
あなやま
穴山 公さん

そばの花ことば

そばの花は地域によって異なりますが、6月中旬（夏そば）と9月中旬（秋そば）の年2回見ごろを迎えます。一般的なそばの花色は白ですが、ピンクの花を咲かせる品種もあるようです。そばの花は素朴で可憐な美しさがあります。一面に咲き誇る白い花畑は見る人の心を和ませてくれます。

そばの花言葉は懐かしい思い出、喜びも悲しみも、幸福、一生懸命、誠実です。これらの花言葉は、そばが荒れた土地でも育つ生命力や、大晦日にそばを食べる風習などに由来しているといわれています。

12月の穏やかな日に、桜ことぶきクラブでは、新そばを食べる会が行われました。参加者が班に分かれ、慣れない手つきでそばを打ち茹でて完成、一足早く年越しそばです。老舗蕎麦屋で食べるそばもうまいが、自分たちで打ったそばは格別「うまい！」と舌鼓打ちながら、一年を一寸早く振り返りました。

編集
後記

希望に輝く令和8年の新春にあたり、市民の皆さまおめでとうございます。

本年も議会広報をご愛読のほどよろしくお願いいたします。中央市も平成18年の合併から、今年2月には早くも20周年を迎えますことに、ともに喜びを申し上げます。

この間、平成23年3月には東日本大震災、平成26年2月には豪雪災害、令和の新型コロナウイルス感染症と、本市を取り巻くさまざまな自然環境などの変化への対応、また、喫緊の課題であります少子高齢化・人口減少の対応を見据え、市政に対して、今しなくてはな

臼井阿原第一
こいけ ひろとし
小池 裕敏さん

中央市地域活動支援センターに通って

私は現在、社協が開設している中央市地域活動支援センターに通っています。2022年に、精神科の先生に勧められ、「ほのか」に相談したことがきっかけで紹介を受け、週に1度くらい通っています。ここでは、調べものやポイ活、インターネット、書類作成など、家で一人で行っていることを他人がいる場所で行う訓練をしています。人がいる中で活動することで、適度な緊張感を感じられ、それが良い刺激になっています。また、料理教室やクリスマス会などのイベントもあります。

それぞれが自分なりの活動に取り組み、参加者は8人から10人ほどです。周囲と同じ空間にいながら、自分の体調や気持ちを見つめ直せる時間でもあります。料理教室ではそうめんや焼きおにぎりを作り、クリスマス会では飾りつけをして、ケーキや鶏料理を味わいました。

職場や学校に近い環境で、リハビリのような感覚で通えています。これからも無理をせず、自分のペースで続けていきたいと思っています。

らない対策がしっかり講じられているのか、注視していきます。

新年も「市民の声」に耳を傾け、より期待される議会運営に取り組んでまいります。

令和8年が、明るい中央市となりますよう心から願っております。

議会
広報
編集
委員会

委員長	江間 政雄
副委員長	田中 輝美
委員	内藤 巧 有泉 誠 志村 勇 木下 友貴

〒409-3892

山梨県中央市臼井阿原301-1 ☎055-274-8516

